

原子力安全対策室の記者発表資料 (H15年度)

志賀原子力発電所1号機の立入調査の実施結果について

志賀原子力発電所に対し、下記のとおり立入調査を実施した。

記

1 日時：平成15年4月1日(火)午前10時30分～午後3時

2 調査者等：7名

(調査者)石川県(2名)、志賀町(2名)、富来町(1名)

(同行者)鳥屋町(1名)、中島町(1名)

3 調査内容

本日4月1日より定格熱出力一定運転¹の導入が実施されることから、出力の変動状況等について確認するため立入調査を実施した。実施した調査内容の主なものは下記のとおり。

出力の上昇状況と熱出力一定後の出力が安定しているかどうかの確認

出力上昇に伴う取放水温度差(7以下であること)等の確認

自主保安活動の確認(運転マニュアルの変更、教育訓練の実施状況等)

4 立入調査結果及び今後の対応

本日実施した立入調査においては、問題なく定格熱出力一定運転への移行が行われたことを確認したが、今後とも定期的に実施している立入調査の中で、その運用状況等の確認を行うこととしている。

1 定格熱出力一定運転

原子炉の出力を一定にする運転方式。海水の温度が低いと原子炉で発生した水蒸気を効率よく冷やすことができるため、電気出力が若干大きくなる。(最大3%、平均2%程度電気出力が大きくなる)

平成15年4月1日
原子力安全対策室
(直通)076(225)
1465
(県庁内線)4231